

在宅医療・介護連携市民講演会を開催します

11月30日(11月30日)は、厚生労働省が定める「人生会議」(ACP:アドバンス・ケア・プランニング)の日です。相模原市では、この日に合わせて、在宅医療と介護に関する市民講演会を開催します。

健康な時から、病気になったり、介護が必要になった時に備えて、どう過ごしていきたいかを考え、家族や身近な人と共有する「人生会議」の大切さをお伝えします。



1 日時

令和5年11月30日(木) 午後2時30分～午後4時30分
(入場は午後2時～)

2 内容

第1部講演 「人生会議」を考える(講師:蔵本浩一氏)
第2部講演 住み慣れた地域や我が家で最期まで～十八歳からの十年介護～
(講師:町亞聖氏)

3 会場

相模原市立あじさい会館 ホール(相模原市中央区富士見6-1-20)

4 定員

320名(申込順)※定員になり次第終了

5 申込み

10月24日(火)～11月26日(日)
相模原市コールセンター 042-770-7777(午前8時～午後9時)

詳細はチラシをご覧ください。

問合せ先

地域包括ケア推進課

直通電話 042-769-9250

住み慣れた地域で、 人生の最後まで自分らしく暮らす

皆さん、自分の将来にどのような医療やケアを受けたいか、考えたことはありますか？
いつか、病気になったり介護が必要になった時に備えて、どう過ごしていきたいか、元気な時から考え、家族や身近な人と共有すること(ACP:アドバンス・ケア・プランニング)の大切さをお伝えします。

日時 令和5年11月30日[木] 午後2時30分～4時30分
(入場：午後2時00分～)

場所 相模原市立あじさい会館 ホール [中央区富士見 6-1-20]

第1部 「人生会議」を考える

【講師】 蔵本 浩一氏 (医師)

医療法人鉄蕉会亀田総合病院
疼痛・緩和ケア科部長代理/地域医療連携室長
一般社団法人iACP 代表

プロフィール

2003年北里大学医学部卒業。横須賀うわまち病院、東京北社会保険病院初期研修医、国保旭中央病院消化器内科後期研修を経て同院緩和ケア科主任医員。2010年～亀田総合病院疼痛・緩和ケア科フェローを経て2023年より現職。また2012年～地元(千葉県南部)の住民と共にACPを考えるプロジェクトを開始、2015年に一般社団法人iACPを設立。もしバナゲームの開発およびゲームを用いた研修会、もしバナマイスター養成プログラムを手掛ける。



第2部

住み慣れた地域や我が家で最期まで ～十八歳からの十年介護～

【講師】 町 亞聖氏 (フリーアナウンサー・元ヤングケアラー)

プロフィール

1995年日本テレビにアナウンサーとして入社。その後、報道キャスター、厚生労働省担当記者として医療問題や介護問題を取材。2011年にフリーに転身。

脳障害のため車いす生活を送っていた母と過ごした10年の日々、そして母と父をがんで亡くした経験をまとめた著書「十年介護」を小学館文庫より出版。医療と介護を自身の生涯のテーマとして取材、啓発活動を続ける。



申込方法 (手話通訳・要約筆記あり)

[申込期間] 令和5年10月24日(火)～11月26日(日)

[申込先] 相模原市コールセンター
(年中無休・午前8時～午後9時) 電話 **042-770-7777**

参加お申込みの方へお願い

こちらの二次元コードから、
ぜひ「人生会議」に関する事前
アンケートにご協力ください。



●氏名、電話番号、参加人数をお伝えください。 ●車いすをご利用の方は申込時にお伝えください。